



弘法大師空海作と伝わる本尊をまつる本堂



弘法大師空海像と共に讃岐平野を眺望する

しゃかによらい 釈迦如来が現れたという 伝説にちなむ寺

がはいしさん
我拝師山の山裾にあるのが、四国八十八箇所霊場第73番札所の出釋迦寺です。我拝師山もんじいん
山求聞持院と称され、しんこんしゅうおむろほ
真言宗御室派の寺院です。本尊は弘法大師空海の作になる釈迦よらい
如来で、こくうぞうぼさつ
虚空蔵菩薩も安置されています。

我拝師山は昔、わしのやま
倭斯濃山といわれていました。寺のいい伝えによれば、空海がまお
真魚と呼ばれていた7歳の時にこの山で修行を積み、「私は将来仏門に入り、仏の教えを広めて多くの人を救いたい。私の願いが叶うなら釈迦如来よ、姿を現したまえ。もし叶わぬのなら一命を捨ててこの身を諸仏に捧げる。」と断崖絶壁から身を投げました。すると釈迦如来が天女を連れて現れ、幼い大師は抱きとめら



高台にある出釋迦寺

れて崖の上に返されたそうです。空海は四国八十八箇所霊場をつくる時に思い出のこの山に登り、釈迦如来を自ら刻み寺を建立して出釋迦寺と名付け、山の名を我拝師山と改めました。300年ほど前までは山頂が札所になっていましたが、今は麓にあります。現在の本堂は天明2(1782)年に建てられたものです。



- 吉原町1091
- 曼荼羅寺から徒歩約5分
- 納経/7:00~17:00
- 駐車場/あり
- 問い合わせ/☎ 0877-63-0073